

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
適切な環境と支援の提供	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されている。	7	0	0	活動内容や場面で多数の部屋を使い分けている。
	2 清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。 また、こども達の活動に合わせた空間になっている。	7	0	0	多数の部屋はスタッフ分担して掃除しておりその児童にあった部屋の使い方が出来る様になっている。
	3 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている。	7	0	0	多数の部屋があり児童の状態や活動内容によって部屋を分けて使う事が認められている。
	4 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている。	3	4	0	発語の無い児童に対する専門支援に力を入れていきたい。
	5 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っている。	5	2	0	
	6 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されている。	4	3	0	支援会議で話し合い、分析して作成されている。
	7 個別支援計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	5	2	0	
	8 作成された個別支援計画は丁寧に支援内容の説明が行われており、個別支援計画に沿った支援が行われている。	4	3	0	
	9 日々の活動内容や取り組みなど、固定化しないよう多様性をもった様々な経験ができるように工夫されている。	5	2	0	新しい取り組みを積極的に取り入れている。 スタッフの強みを生かす取り組みを行っている。
	10 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援が行われている。	6	1	0	活動内容、児童の状態を見て個別の小グループ、全体活動と判断して支援している。
業務改善	11 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	1	支援会議、引継ぎノート、グループLINE業務会議、企画会議等。 パート職員含めた職員全員に共有してほしい。
	12 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	0	
	13 支援開始前には職員間で打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。支援終了後には職員間で打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	4	2	1	計画書の作成、配置、写真を使ってスタッフ間においても視覚的に内容を見える化して共有。
ご家族への対応について	14 ご家族との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされ、苦情や要望に対しては、体制を整備するとともに、迅速かつ適切に対応している。	5	2	0	苦情や要望に対し具体的な改善策を提示して、問題の根源を解消する努力を行っている。
	15 日頃からこどもの姿や様子を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思う。	6	1	0	送迎時の会話、連絡帳等。
	16 ご家族、学校、放デイなど、関係機関との連携が蜜に図れているように感じられる。	4	3	0	各方面の話を聞き取り、様子を比較したりしている。
	17 定期的に、面談やこどもへの関わり方、支援に関するアドバイスや助言など、ご家族への支援が行われている。	5	2	0	困り事や日常生活の話を聞き取りをしており、必要に応じてアドバイス等を行っている。
	18 家族参加イベントや茶話会の開催等により、保護者同士やきょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。	5	1	1	親子で参加できる機会を設けている。 一緒に来所した際やお迎えに来た時に様子を見てもらっている。
	19 定期的におたよりやホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されている。	4	1	2	おたよりの配布、細かい計画を立てている活動については、参加者に個別でメールにて通知している。業務に関する自己評価の結果は子どもや保護者の公表されていない。
	20 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思う。	4	3	0	
非常時等の対応	21 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされている。	5	2	0	発生時の初動対応から連絡、結果までを明確に説明している。すべて理由を説明できるよう細かく記録をとっている。 パート職員含めた職員全員に共有してほしい。
	22 業務継続計画（BCP）、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	4	3	0	マニュアル、知識だけでなく、防犯など時にシミュレーション訓練を行い、経験を養っている。
	23 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	5	1	1	共有して改善策を迅速に行っている。
満足度	24 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	3	4	0	
	25 子どもの将来を見据えた支援を追求できていると感じられる。	4	2	1	児童の興味等を伸ばす支援を行っている。
	26 こどもは通所を楽しみにしている。	6	1	0	
	27 何かあれば気軽に相談できるスタッフが事業所にいる。	5	1	1	

放課後等デイサービス flat大東いもりぷらざ店 保護者等からの事業所評価の集計結果

		利用児童数：32名				回収数：20	公表日：2026年3月1日	
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見・ご要望	ご意見・ご要望への対応	
適切な環境と支援の提供	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されている。	20	0	0	0		
	2	清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。 また、こども達の活動に合わせた空間になっている。	18	1	0	1	毎回靴下が真っ黒になっている。	清掃の当番制の導入。
	3	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている。	19	0	0	1		
	4	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っている。	19	0	0	1		
	5	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されている。	20	0	0	0		
	6	個別支援計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	18	0	0	2		
	7	作成された個別支援計画は丁寧に支援内容の説明が行われており、個別支援計画に沿った支援が行われている。	18	1	0	1		
	8	日々の活動内容や取り組みなど、固定化しないよう多様性をもった様々な経験ができるように工夫されている。	20	0	0	0		
ご家族への対応について	9	ご家族との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされ、苦情や要望に対しては、体制を整備するとともに、迅速かつ適切に対応している。	19	0	0	1		
	10	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0		
	11	日頃からこどもの姿や様子を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思う。	19	0	0	1		
	12	ご家族、学校、放デイなど、関係機関との連携が密に図れているように感じられる。	17	0	1	2	学校からの引き継ぎの内容はあまり聞かない。	引き継ぎの徹底を学校側へ再度要請。
	13	定期的に、面談やこどもへの関わり方、支援に関するアドバイスや助言など、ご家族への支援が行われている。	19	1	0	0	アドバイスの機会は特になし。	茶話会の開催等、スタッフと保護者が接する機会を創出していく。
	14	家族参加イベントや茶話会の開催等により、保護者同士やきょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。	17	1	0	2	もう少し増やしてほしい。	保護者だけの集まりなど定期的に開催予定。
	15	定期的におたよりやホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されている。	17	2	0	1		
16	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思う。	19	1	0	0			
非常時等の対応	17	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、発生を想定した訓練が実施されている。	17	1	0	2		
	18	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていると思う。	17	0	0	3		
	19	こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思う。	18	0	0	2		
	20	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思う。	18	1	0	1	こちらが確認する前けがやトラブルについて報告がない時がある。	コミュニケーションツール（グループLINE等）を使用してスタッフ同士の連絡を徹底。
満足度	21	子どもの将来を見据えた支援を追求できていると感じられる。	19	0	0	1		
	22	こどもは通所を楽しみにしている。	18	1	0	1		
	23	こどもを安心して預けられている。	20	0	0	0		
	24	何かあれば気軽に相談できるスタッフが事業所にいる。	20	0	0	0		
	25	事業所の支援に満足している。	20	0	0	0		

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス flat大東いいもりぷらざ店		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの事を十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されている。日々の活動や取り組み等、固定化しないよう多様性を持った様々な経験を積む事が出来る様に工夫されている。	職員間で定期的な支援会議に加えて取り組み内容についても会議を開催している。	職員の外部研修の参加の推進を図っていく。
2	日頃から子どもの姿や様子を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共有理解が出来ていると思う。何かあれば気楽に相談できるスタッフが事業所にいる。	定期的な親子参加企画に加え、保護者だけの集まり(茶話会)を定期的開催。	親子参加企画や茶話会にデイサービスを卒業した子どもの保護者や療育の専門家を招き、さらに会の充実度を上げていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族、学校、放デイなど、関係機関との連携が蜜に図れていないように感じられる。	定期的意見交換する場がないため、情報が共有出来てない時がある。	相談支援専門員などに働きかけ、随時サービス調整会議などを行っていく。
2	定期的におたよりやホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されている。	SNSについて更新頻度が低調であった。	日々の取り組みの理解に繋がるよう、SNSを積極的に利用していく。
3	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、発生を想定した訓練が実施されている。	策定、訓練等行っているが保護者に伝わっていない。	策定、訓練等しっかりと行っているため発行物などでその旨を都度公表していく。